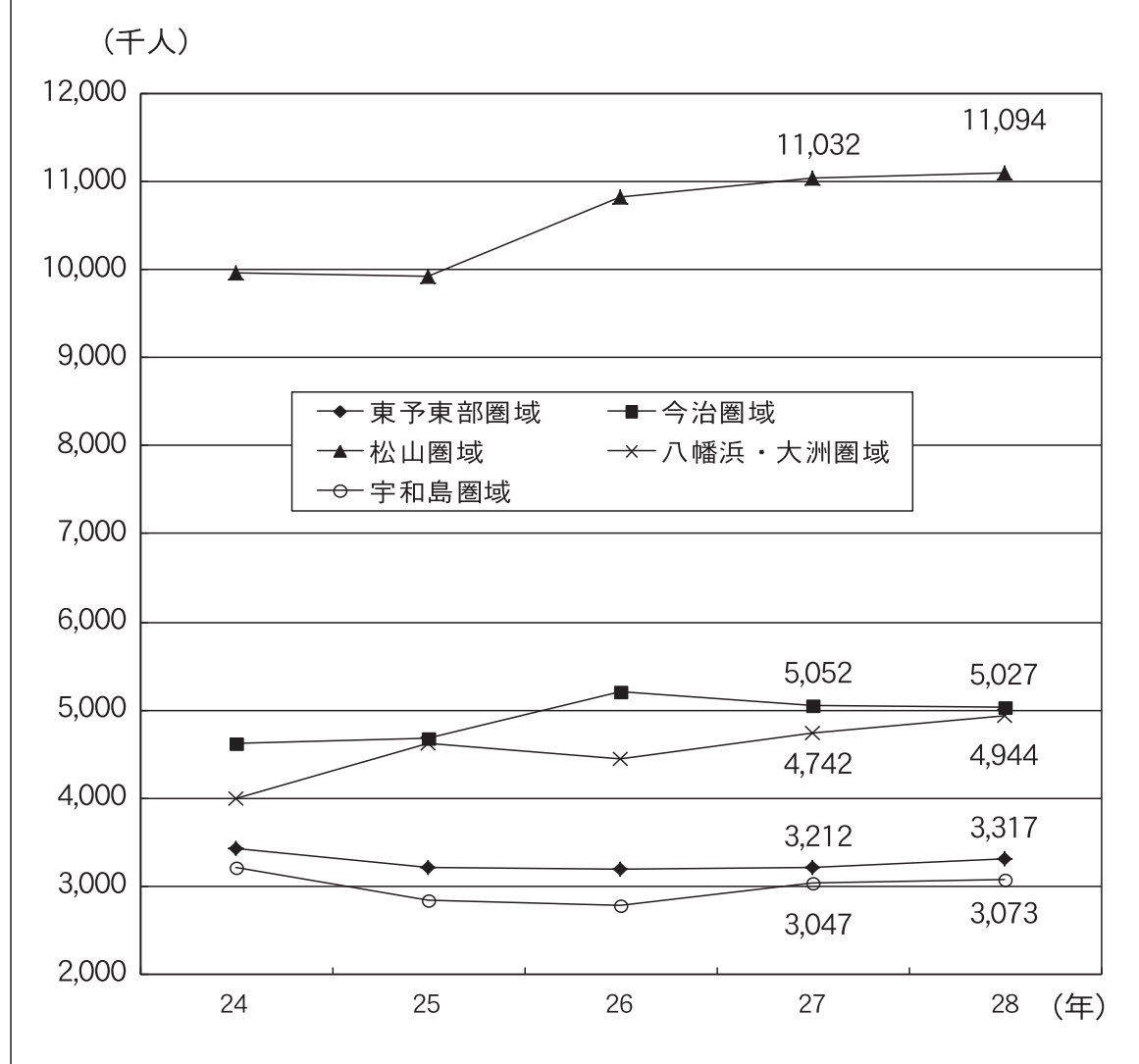
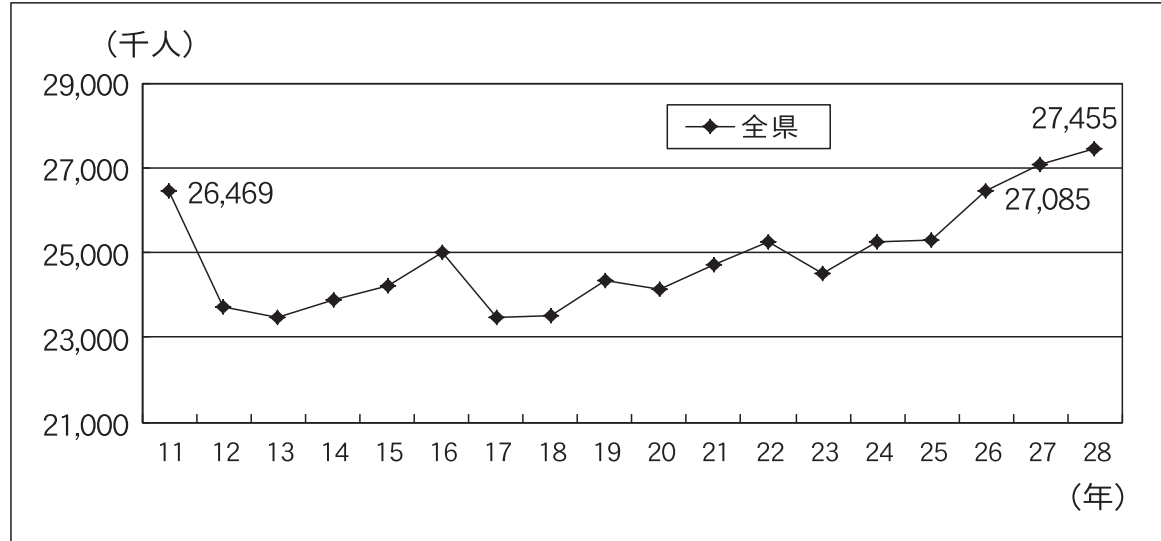


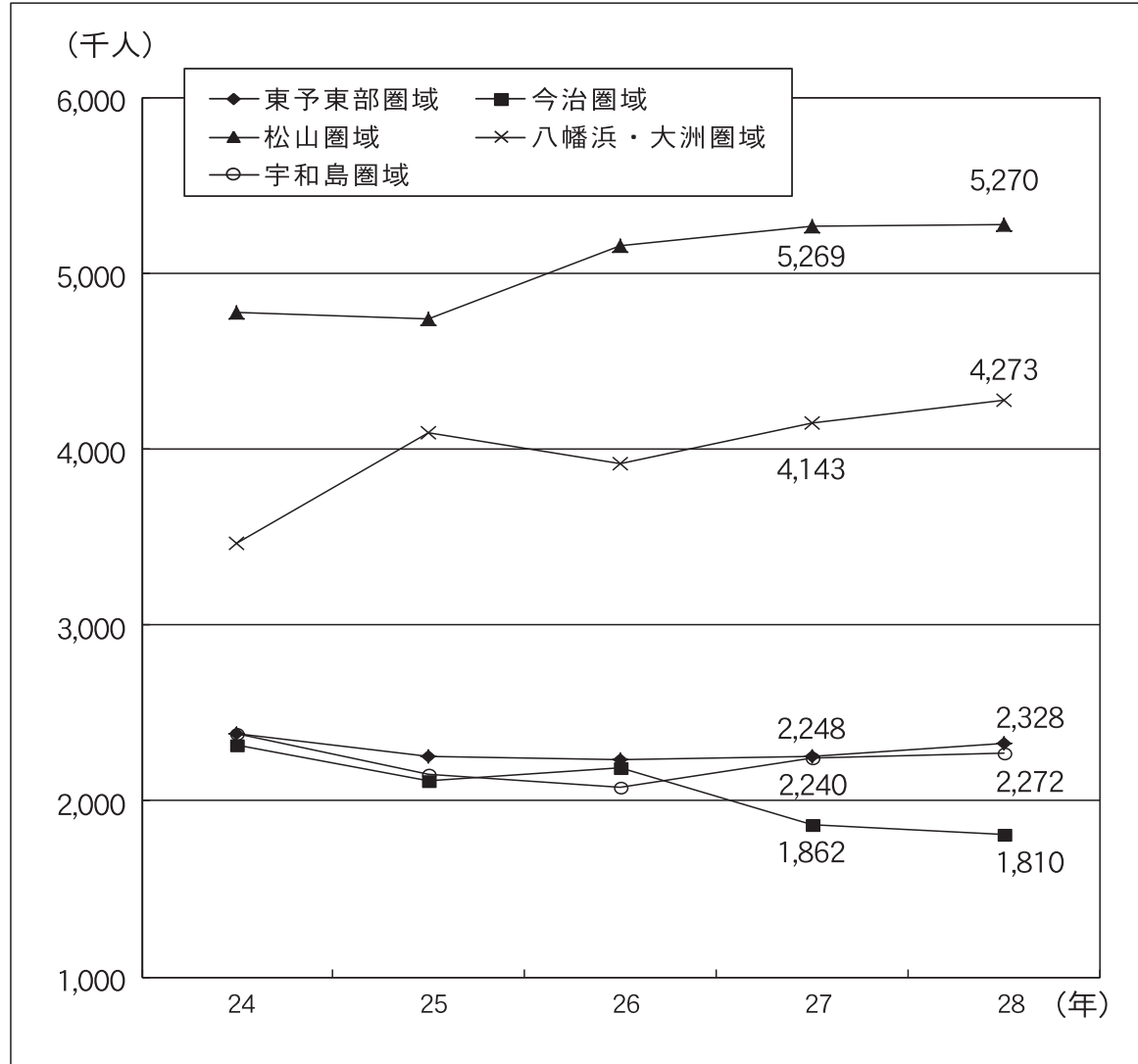
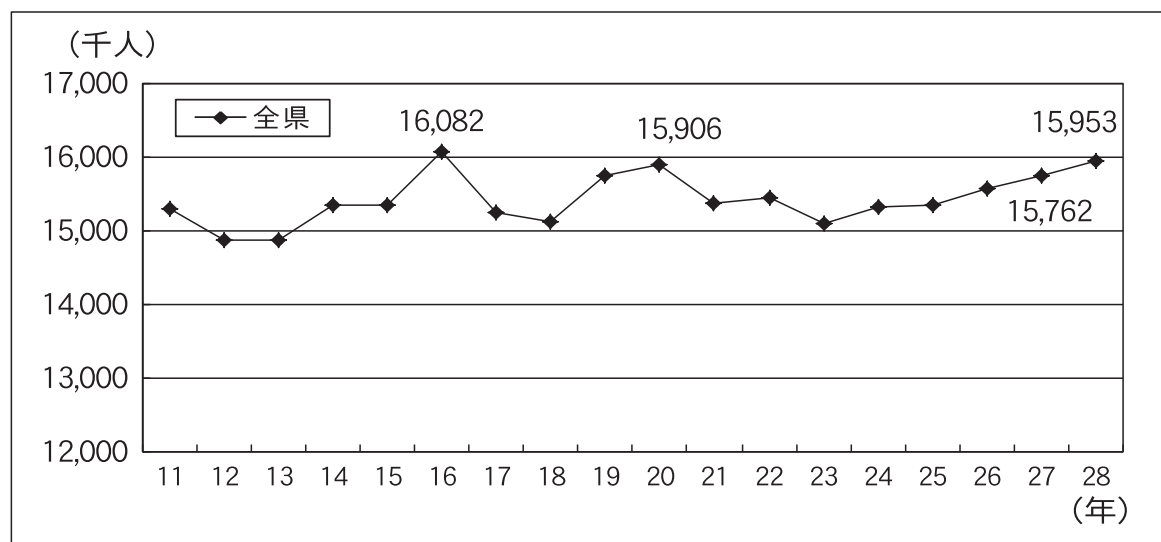
平成28年、愛媛県の観光客数とその消費額

客数2745万5000人、過去最高に

観光客総数の推移



県内観光客数の推移



愛媛県がこのほど公表した「平成28年観光客数とその消費額」によると、同県の昨年1年間(28年1~12月)の観光客総数は延べ2745万5千人と推定され、前年を1.4%上回る(37万人増)過去最高を記録した。また観光消費総額は1107億円と推定。前年比0.5%の増加(6億円増)で、「瀬戸内しまなみ海道」が開通した11年の1238億円に次いで、過去2番目の数字となった。

観光客数は前年、瀬戸内しまなみ海道開通の11年を初めて上回る過去最高を記録。28年はそれも上回った。

観光客が増えた要因として県では「えひめいやし」の南予博2016の開催や「道後アート2016」の開催、松山圏域における「道後アート2016」の開催等により女子旅人気が高まったことによる効果や今治圏域における「サイクリング」

「南予博」「道後アート」など奏功

観光客が増えた要因として県では「えひめいやし」の南予博2016の開催や「道後アート2016」の開催、松山圏域における「道後アート2016」の開催等により女子旅人気が高まったことによる効果や今治圏域における「サイクリング」

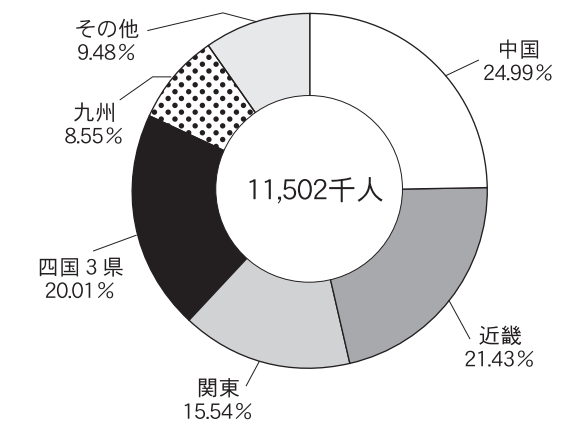
観光客総数のうち、県外客が延べ1150万2千人で、同1.6%増加。県内客が1595万3千人で、同1.2%増加した。

地域別では、東予東部圏域(新居浜市など)が延べ10万5千人、松山圏域が同6万2千人、八幡浜・大洲圏域が同2万2千人、宇和島圏域が同2万6千人のそれぞれ増加。

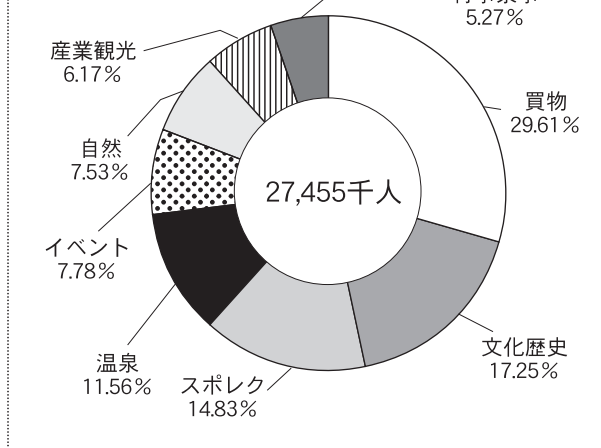
今治圏域は9月のシルバウィークをはじめ、サイクリング需要の高まる時期の天候不順などで、同2万5千人減少した。

一方、観光消費総額を支出項目別に見ると、宿泊費で4億円、域内交通費で1億円、その他で2億円それぞれ増加。土産品購入費は1億円の減額となった。

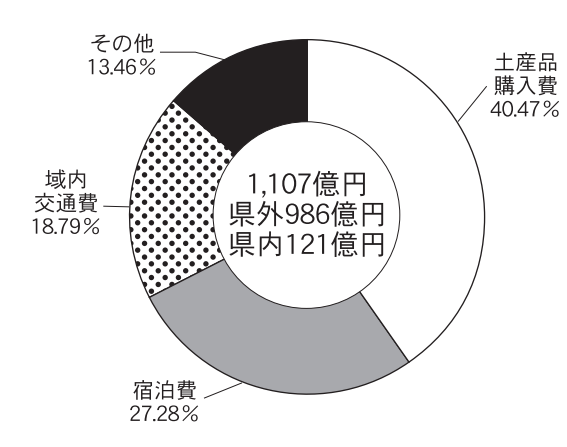
県外観光客の発地別



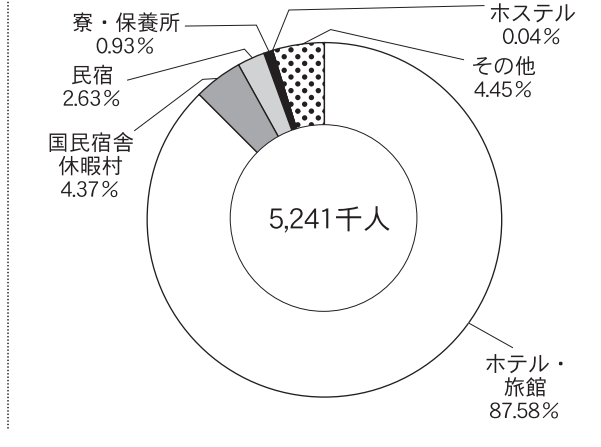
観光の目的別



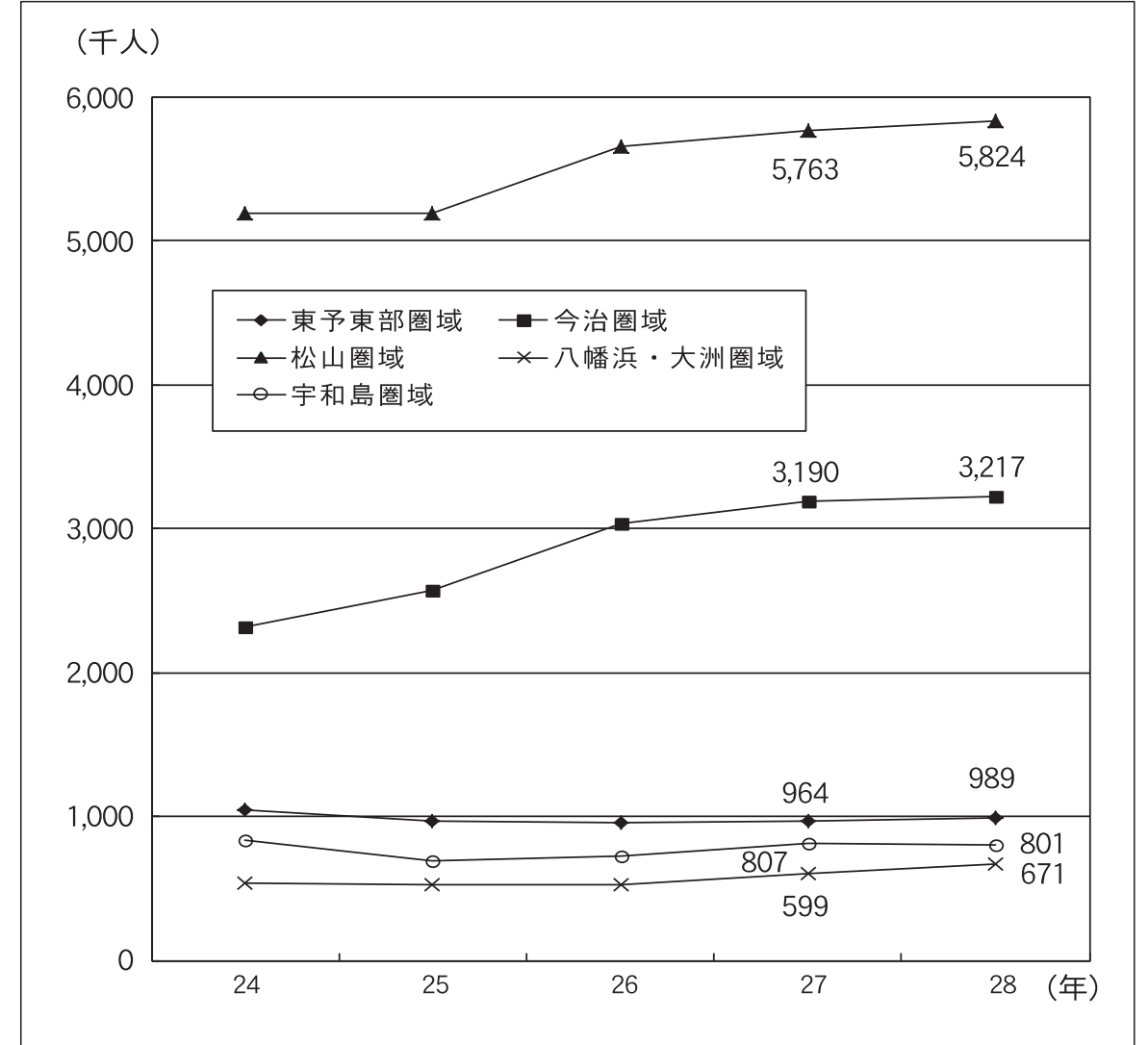
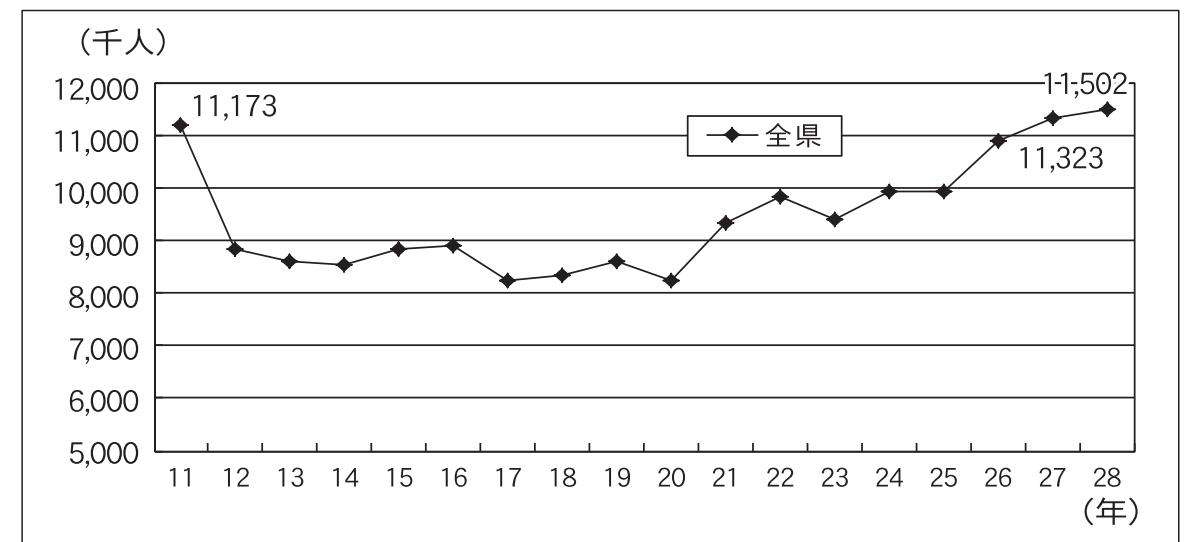
観光消費額支出項目別



宿泊客の利用施設別



県外観光客数の推移



消費額1107億円、11年に次ぐ過去2番目の数字

調査データ